

第 4 0 8 回白石市議会定例会提出議案件名一覧

番 号	件 名
第 1 号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について
第 2 号議案	宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び宮城県市町村職員退職手当組合同約の変更について
第 3 号議案	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更について
第 4 号議案	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更について
第 5 号議案	物品購入契約の締結について
第 6 号議案	白石市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第 7 号議案	白石市中小企業振興基本条例
第 8 号議案	白石市公共物管理条例の一部を改正する条例
第 9 号議案	白石市道路占用料条例の一部を改正する条例
第 1 0 号議案	白石市都市公園条例の一部を改正する条例
第 1 1 号議案	白石市材木岩公園等設置条例の一部を改正する条例
第 1 2 号議案	白石市新型インフルエンザ等対策本部条例
第 1 3 号議案	白石市社会教育委員の設置に関する条例の一部を改正する条例
第 1 4 号議案	平成 2 5 年度白石市一般会計補正予算（第 6 号）
第 1 5 号議案	平成 2 5 年度白石市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）
第 1 6 号議案	平成 2 5 年度白石市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）
第 1 7 号議案	平成 2 5 年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）
第 1 8 号議案	平成 2 5 年度白石市水道事業会計補正予算（第 4 号）

第 1 9 号議案	平成 2 5 年度白石市下水道事業会計補正予算 (第 4 号)
第 2 0 号議案	平成 2 6 年度白石市一般会計予算
第 2 1 号議案	平成 2 6 年度白石市国民健康保険特別会計予算
第 2 2 号議案	平成 2 6 年度白石市介護保険特別会計予算
第 2 3 号議案	平成 2 6 年度白石市後期高齢者医療特別会計予算
第 2 4 号議案	平成 2 6 年度白石市水道事業会計予算
第 2 5 号議案	平成 2 6 年度白石市下水道事業会計予算

平成25年度 平成26年2月補正予算概要

(単位:千円)

会 計 名		補正前の額	補 正 額	総 額
一 般 会 計		15,511,289	262,651	15,248,638
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	4,541,791	17,209	4,559,000
	介 護 保 険	3,315,211	22,925	3,292,286
	後 期 高 齢 者 医 療	410,119	35,119	375,000
	計	8,267,121	40,835	8,226,286
合 計		23,778,410	303,486	23,474,924

企業会計

(単位:千円)

会 計 名		補正前の額	補 正 額	総 額
水 道 事 業 会 計		1,256,635	16,157	1,240,478
下 水 道 事 業 会 計		1,906,278	197,397	2,103,675

企業会計は収益的支出 + 資本的支出

2月補正の主な事業及び金額

一般会計

(単位:千円)

事業名	金額
事業費確定等による減額補正が主である。	

平成26年度一般会計・特別会計等予算総括表

(単位:千円)

区 分 会 計 別	平成26年度 (A)	平成25年度 当初予算(B)	現計予算額 12月補正(C)	比 較 増 減			
				(A) - (B)	増減率(%)	(A) - (C)	増減率(%)
一般会計	15,132,059	13,906,026	15,511,289	1,226,033	8.8	379,230	2.4
特別会計							
国民健康保険	4,140,000	4,109,990	4,541,791	30,010	0.7	401,791	8.8
介護保険	3,448,364	3,235,348	3,315,211	213,016	6.6	133,153	4.0
後期高齢者医療	421,319	394,950	410,119	26,369	6.7	11,200	2.7
特別会計計	8,009,683	7,740,288	8,267,121	269,395	3.5	257,438	3.1
合 計	23,141,742	21,646,314	23,778,410	1,495,428	6.9	636,668	2.7

企業会計

水道事業会計	1,314,209	1,225,240	1,256,635	88,969	7.3	57,574	4.6
下水道事業会計	2,352,461	1,652,802	1,906,278	699,659	42.3	446,183	23.4

注:企業会計については収益的支出 + 資本的支出額

平成26年度当初予算の主要事業

一般会計

(単位:千円)

事業名	金額
子育て支援と学校教育の充実	
・小学生学力調査	2,189
・学校給食センター用地取得	36,000
・新たな民間保育園整備の支援	114,857
・児童館・放課後児童クラブ運営事業	36,837
交流拠点都市づくり	
・花と緑のまちづくり事業	2,397
・市制施行60周年記念事業	7,100
産業振興の推進	
・企業立地優遇制度	155,326
・震災復興割増商品券発行事業	21,800
防災のまちづくり	
・防災拠点施設再生可能エネルギー導入事業	139,968
・防災備蓄品等の計画的整備	10,120
放射能対策	189,482
都市基盤の整備	
・白石蔵王駅東口駐車場整備事業	5,940
・市道改良整備事業	187,250

平成26年2月議会 記者会見資料

平成26年度当初予算関係

子育て支援と学校教育の充実

小学生学力調査

担当：教育委員会学校教育課

文部科学省では、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるため、平成19年度から全国的に子ども達の学力状況を把握する「全国学力・学習状況調査」を行っています。

本市の全国学力テストの結果は、小中学校ともに国・県の平均を下回る結果となっており、学力向上を図るためには小学校入学後できるだけ早い段階で各児童の学力を把握することが重要であると考えています。

本市では、今年度より小中学生の学力向上を一層図るため、小学校全児童を対象とした市独自の学力テストを年2回実施し、子ども一人ひとりの学力を正しく捉え、学習状況の改善を図ります。

事業概要

1 実施時期

1学期（春）及び2学期（秋）

2 対象

小学1年生から6年生の全児童（ただし1学期は小学1年生を除く）

3 実施科目

国語、算数

[歳出] 10款 教育費 1項 教育総務費 3目 教育振興費

3事業 一般管理的経費

13節 委託費

小学校学力調査業務委託料

2,189千円

学校給食センター用地の取得

担当：教育委員会学校教育課

学校給食センターの移転新築に関しては、現在の本市学校給食センターの課題であります食物アレルギーへの対応、施設の老朽化及び施設規模の縮小に対応するため、昨年末、学校給食センター新設に関する基本設計に着手したところです。

今回の用地取得により、平成26年度中に土地の引渡を受け、公募型プロポーザル方式による委託業者の選定を行い、建物の建設を進め、平成27年8月の供用開始を目指します。

取得用地の概要

- 1 所在 白石市大平中目字北屋敷前78-2
- 2 地目 宅地
- 3 地積 3,342.36㎡

[歳出]	10款	教育費	6項	保健体育費	4目	学校給食センター	
	3事業	学校給食センター整備事業					
	17節	公有財産購入費					
		土地購入費					36,000千円

民間保育園整備の支援

担当：民生部子ども家庭課

今日の保育では、核家族化の進行、共働き世帯の増加、長時間労働などにより、0歳児保育などの低年齢児保育や延長保育を希望する保護者が増えており、多様化する保育ニーズへの対応が求められています。

平成23年11月に策定した「市立保育園の民営化方針」では、「市は、民間事業者の活力を導入した保育環境の充実と効率的な保育園運営を図るべきである。」と方針を定め、昨年4月には東保育園に代わる「白石はるかぜ保育園」が開園しました。

現在の西保育園は、昭和44年10月に開園されてから44年が経過しており、老朽化が進んでいることから、早急に建て替えなどの施設整備が必要となっております。

昨年10月から西保育園に代わる新たな保育園を運営する事業者を募集し、保護者代表、子育て関係団体代表、市立保育園代表、学識経験者などからなる「事業者選考委員会」で審査したところ、去る1月30日に(仮称)社会福祉法人星王(せいおう)会が設置・運営事業者に選定されました。これを受け、市は西保育園に代わる2か所目の民間保育園の整備を支援し、市民が安心して子どもを生き育て、心やすらかに暮らせるまちづくりを推進します。

新保育園の概要

- 1 名称 (仮称)遊びの森
- 2 事業者 (仮称)社会福祉法人星王(せいおう)会
理事長 風間 文静
白石市字沢目21-1
- 3 設置場所 白石市大川町4-3他 地内
- 4 用地面積 2,375㎡
- 5 定員計画 90人(0歳児保育実施)
- 6 開園予定日 平成27年4月1日

[歳入] 県支出金

子育て支援対策臨時特例基金特別対策事業費補助金 102,095千円

[歳出] 3款 民生費 2項 児童福祉費 4目 保育園費

2事業 保育園運営事業

19節 負担金補助及び交付金

保育園整備事業費補助金

114,857千円

児童館・放課後児童クラブ運営事業

担当：民生部子ども家庭課

児童館・放課後児童クラブは、近年の厳しい経済・雇用情勢の影響による就労形態変化などにより、利用者から学校休業日は夕方の開所時間延長、長期休暇中は朝の開所時間繰り上げ等の要望が出されております。

このような状況にあるため、平成24年9月以降、市では保護者の方などからご意見を聴く機会を設け、昨年2月に保護者の代表者や学識経験者、児童福祉関係者等で構成する「白石市児童館・放課後児童クラブのあり方検討委員会」を設置し、協議を重ねた結果、「開設時間の延長など、より一層のサービス向上を図ることと、各放課後児童クラブの運営体制の充実と平準化を図ること」との報告を受けました。

検討を重ねた結果、限られた財源を効果的に活用しながら利用者ニーズに応えたサービス提供を図るため、平成26年4月から児童館及び放課後児童クラブの運営を民間事業者へ委託することとし、昨年10月の事業者募集から選考を経て、今年2月4日に運営事業者が決定しました。

また、平成23年4月に開設した大平放課後児童クラブに加え、本年4月開設予定の福岡放課後児童クラブは、いずれも地区住民により組織された放課後児童クラブであり、運営経費の助成により、次世代を担う児童の健全育成を支援します。

業務委託の概要

1 委託事業者 NPO法人 FOR YOU にこにこの家
理事長 小岩 孝子
仙台市太白区四郎丸字神明16-2

2 委託する施設名

(1) 児童館運営事業

第一児童館及び第二児童館

(2) 放課後児童クラブ事業

第一児童館放課後児童クラブ、第二児童館放課後児童クラブ、第一小学校放課後児童クラブ及び第二小学校放課後児童クラブ

[歳入]	県補助金		
	放課後児童対策事業費補助金	9,090千円	
	分担金及び負担金		
	放課後児童クラブ利用料	6,120千円	
[歳出]	3款 民生費	2項 児童福祉費	5目 児童館費
	3事業 放課後児童健全育成事業		
	13節 委託料		
	児童館・放課後児童クラブ運営業務委託料		32,133千円
	19節 負担金補助及び交付金		
	放課後児童クラブ補助金		4,704千円

平成26年2月議会 記者会見資料
平成26年度当初予算関係

交流拠点都市づくり

花と緑のまちづくり事業

担当：総務部企画情報課
建設部都市整備課

第五次総合計画の目標のひとつであります「市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまち」実現に向けて、地域の方との協働による花と緑づくりを進めるために公園整地や観光客の往来がある広場などへの花や緑を育てる環境作りに取り組みます。これらの取り組みは「花と緑のマップ」や広報しろいしなどで紹介し、花と緑に興味がある方々の交流推進につなげます。

これらの取り組みを通じて白石の魅力を増やし、交流人口の増加を図るとともに、白石に住む人にとっては安らぎある空間の創出と協働による交流の推進、おもてなしの心の醸成を図ります。

主な事業概要

- 1 鷹巣第5公園盛土工事
- 2 広場等ポイント緑化
- 3 花と緑のマップ作成
- 4 緑が丘第1公園白つつじ植栽
- 5 ガーデニング等に取り組んでいる個人や団体などの情報収集

[歳出]	2款 総務費	1項 総務管理費	7目 企画費	
	3事業及び4事業	花と緑のまちづくり事業		
	11節 需用費			1,343千円
	15節 工事請負費			
	公園施設改良工事			1,000千円
	19節 負担金補助及び交付金			
	水道加入金			54千円

市制施行60周年記念事業

担当：総務部総務課

白石市は、昭和29年4月1日に旧白石町、越河村、斎川村、大平村、大鷹沢村、白川村、福岡村の1町6村が合併し、仙南地域で初めて市制を施行しました。その後、昭和32年3月に小原村が加わり、現在の姿となっております。

市制施行60年の節目の年を迎えるに当たり、市民の皆様とともにこれを祝し、未来に向け白石市の限りない創造と発展を目指すため、各種記念事業を実施します。

平成26年度 市制施行60周年記念事業

(単位：千円)

事業名	事業概要	所管課	歳出予算科目	事業費
市制施行60周年記念式典の開催	記念式典及び記念祝賀会の開催 開催予定月：平成26年10月 開催場所：ホワイトキューブ	総務課	2款 総務費 1項 総務管理費 1目 一般管理費	640
花と緑のまちづくり事業	鷹巣第5公園盛土工事、広場等 ポイント緑化、緑が丘第1公園 白ツツジ植栽、花と緑のマップ 作成など	企画情報課、 都市整備課	2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費	2,397
鬼小十郎まつり映像制作事業	平成26年10月に開催予定の「第7回鬼小十郎まつり」の模様を中心に鬼小十郎まつりに関する歴史資源等を加えた映像作品を制作・放映し本市のPRを行う。	企画情報課	2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費	2,763
新竹市との交流促進	観光物産、産業経済、教育文化など幅広い分野での人的交流を図るため、台湾新竹市への市民団訪問を支援する。	総務課	2款 総務費 1項 総務管理費 14目 国際交流費	1,200
白石CM公募事業	元気な市町村を応援する東日本放送主催の「みやぎふるさとCM大賞」に応募する作品を公募し、観光、物産、歴史など本市の魅力や素晴らしさを広くPRすることで地域の活性化を図る。	商工観光課	7款 商工費 1項 商工費 4目 観光費	100
合 計				7,100

平成26年2月議会 記者会見資料

平成26年度当初予算関係

産業振興の推進

企業立地優遇制度

担当：産業部企業立地推進課

企業誘致については、「企業立地投資奨励金」などの各種優遇制度や交通インフラなど企業立地環境の積極的なPRに努め、白石インター工業団地に防犯・防災関連機器製造業のセコム工業（株）と日用品卸売企業の（株）P a l t a c が工場等を新築しました。また、天王工業団地には住宅基礎鉄筋製造業のメークス（株）が東北工場を新築し、昨年10月末から操業を開始しております。この他にも電池パック製造業のトーカドエナジー（株）が平成24年4月に白石工場を改築しました。

これら企業への各種企業立地優遇制度などを通じ、雇用の確保及び市民所得の向上を図り、定住人口の確保に努めます。

1 企業立地投資奨励金

企業立地投資奨励金は、市内に工場などの新設または増設した際、新設または増設に要した投下固定資産（土地・家屋・償却資産）の取得価格の10%相当額を交付するものです。

- (1) セコム工業株式会社 新本社工場新築（平成24年12月3日事業開始）
交付額 60,000千円（総交付予定額300,000千円を5年分割）
- (2) トーカドエナジー株式会社 白石工場改築（平成24年4月2日事業開始）
交付額 21,000千円（総交付予定額105,883千円を5年分割）
- (3) 株式会社P a l t a c R D C 宮城(大規模最先端物流センター)新築（平成25年9月30日事業開始）
交付額 60,000千円（総交付予定額300,000千円を5年分割）
- (4) メークス株式会社 東北工場新築（平成25年10月31日事業開始）
交付額 11,179千円（総交付予定額55,179千円を5年分割）

2 企業立地雇用促進奨励金

企業立地雇用促進奨励金は、事業開始から3年までの間に白石市民を常用雇用者として新規に採用した場合、1人につき20万円を交付するものです。

株式会社P a l t a c 交付額 1,000千円

3 企業立地奨励金

企業立地奨励金は、市内に工場などの新設または増設した際、新設または増設に要した投下固定資産（土地・家屋・償却資産）に係る固定資産税・都市計画税に相当する額を交付するものです。

(1) セコム工業株式会社 新本社工場新築（平成24年12月3日事業開始）

交付額 2,061千円

(2) トーカドエナジー株式会社 白石工場改築（平成24年4月2日事業開始）

交付額 86千円

[歳出] 7款 商工費 1項 商工費 3目 企業立地推進費

2事業 一般管理的経費

19節 負担金補助及び交付金

企業立地投資奨励金 152,179千円

企業立地雇用促進奨励金 1,000千円

企業立地奨励金 2,147千円

震災復興割増商品券発行事業

担当：産業部商工観光課

東日本大震災は、事業者のみならず多くの市民に甚大な被害をもたらしました。さらに、震災前から続く不況の影響と原発事故による風評被害が重なったことから消費が低迷しており、経済の窓口となる小売店などの経営は深刻な状況にあります。

このような中、地域経済の循環を回復することが急務であることから、平成23年度に交付を受けた宮城県震災復興基金交付金を原資とした東日本大震災復興基金を活用し、「白石城下2割得盛商品券」と「2割増飲食券」の発行事業に対する助成を行い、消費の喚起を図るとともに市民生活の向上と事業者の復興を支援します。

1 事業概要

	2割得盛商品券	2割増飲食券
事業期間	平成24年度～27年度	平成26年度～27年度
額面	12,000円 (500円×24枚) 「小規模事業所専用券」12枚 「全店共通券」12枚	3,600円 (300円×12枚)
販売額	10,000円	3,000円
発行部数	10,000セット	3,000セット
使用店等	小売店等約200店	飲食店等40店
使用期間	7月中旬～1月上旬	11月中旬～1月下旬
補助金額	20,000千円	1,800千円

2 事業主体：白石商工会議所

[歳入] 繰入金

東日本大震災復興基金繰入金 21,800千円

[歳出] 7款 商工費 1項 商工費 2目 商工業振興費

7事業 復興支援商品券発行事業

19節 負担金補助及び交付金

震災復興支援割増商品券発行助成金 21,800千円

平成26年2月議会 記者会見資料
平成26年度当初予算関係

防災のまちづくり

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を踏まえ、指定避難所である地区公民館の電力の確保が重要な課題であることから、自立運転可能な太陽光発電設備及び蓄電池を導入し、停電時にも最低限の避難生活が確保できるようにします。

防災拠点施設再生可能エネルギー導入事業

担当：民生部生活環境課

地区公民館の防災拠点施設としての整備について、平成25年度は太陽光発電パネルと蓄電池を設置するための調査を行いました。調査の結果、白川及び小原公民館は建物の構造上太陽光発電パネルを設置することができなかつたため、ガス発電システムを設置しました。残る6つの公民館は、国のグリーンニューディール基金を活用して平成26年度に太陽光発電パネルと蓄電池を整備し、地域の核となる避難所としての機能強化を図ります。

事業概要

太陽光発電パネル及び蓄電池の設置

- 1 設置場所：越河、斎川、大平、大鷹沢、福岡、深谷公民館
- 2 導入設備：1施設当たり 太陽光発電パネル20枚5Kw、リチウムイオン蓄電池1基5.5Kwh（キロワットアワー）

[歳入]	県支出金	
	再生可能エネルギー等導入補助金	139,968千円
[歳出]	9款 消防費	1項 消防費
	5事業 防災拠点再生可能エネルギー導入事業	
	13節 委託料	
	測量設計等委託料	5,184千円
	15節 工事請負費	
	公民館再生可能エネルギー導入工事	134,784千円

防災備蓄品等の計画的購入

担当：民生部生活環境課

東日本大震災では、市内全世帯が停電し、市北部の一部を除く約9,000戸が断水したほか、一部損壊を含めて約2,700棟の家屋が被害を受けたため、最大23カ所に避難所を開設し、1,910名の方が避難しました。

避難物資については、(株)セブンイレブンジャパン、みやぎ生活協同組合及び(株)ヨークベニマルと災害時における応急生活物資の供給協力等に関する協定を締結しておりますが、応急生活物資が到着するまでの間や災害が大規模になり物資の供給に時間が掛かる場合などに備えて、食糧は6,000食分、飲料水は500ミリリットルのペットボトル18,000本を平成25年度から5年間掛けて計画的に備蓄を進めております。

また、避難所での最低限の生活機能を確保するため、指定避難所へのLED照明の配備や着替えなどに活用できる防災用テント、簡易トイレなどを整備し、防災・減災のまちづくりに取り組んでいきます。

[歳入] 繰入金

東日本大震災復興基金繰入金 2,797千円

[歳出] 9款 消防費 1項 消防費 5目 防災費

5事業 防災拠点再生可能エネルギー導入

11節 需用費

消耗品費 2,798千円

18節 備品購入費 7,322千円

平成26年2月議会 記者会見資料
平成26年度当初予算関係

放射能対策事業

担当：民生部放射能対策室

福島第一原子力発電所事故に起因する放射性物質の拡散による市民の不安を軽減し、安心・安全な生活を取り戻すための事業です。

引き続き空間放射線量の測定及び食品等の放射能測定を実施し、結果を公開していくことにより放射能汚染への市民の不安を払拭していきます。

平成26年度は、白石市除染実施計画に基づき、除染実施対象区域内の民有地等の除染作業に取り組み、原発事故前の安心・安全な生活環境を一刻も早く取り戻すため、放射線量の低減化を図ります。

さらに、焼却灰の収集・保管についても、引き続き地域住民のご理解をいただきながら、各地区毎の仮置場設置に努めるとともに、仮置場設置に合意できた地区から順次収集・保管を行います。

[歳入] 国庫補助金

放射線量低減対策緊急事業補助金 146,752千円

国庫委託金

指定廃棄物保管業務委託金 17,239千円

県補助金

震災等緊急雇用対応事業補助金 12,106千円

消費生活活性化事業補助金 875千円

諸収入

臨時職員等社会保険料本人負担分 918千円

臨時職員等雇用保険料本人負担分 30千円

[歳出] 4款 衛生費 1項 保健衛生費 12目 放射能対策費

3事業 放射能対策事業 14,128千円

4事業 放射線量低減対策事業 147,183千円

5事業 放射能汚染対策事業 28,171千円

平成26年2月議会 記者会見資料
平成26年度当初予算関係

都市基盤の整備

白石蔵王駅東口駐車場整備事業

担当：建設部都市整備課

白石蔵王駅駐車場は、駅前広場の効率的な活用及び利用者の利便性向上のため、平成14年度に駅西口及び東口広場を利用して駐車場整備を行いました。

当駅は、通勤時の利用はもとより、近年では、デスティネーションキャンペーンによる観光客の増加など、東北圏の拠点として市内外の多くの方が利用し、特に自家用車などの利用者が増加傾向にあります。しかし、駐車場の駐車台数は限られており、特に、土曜日や日曜日、祝日は早朝から満車状態になり、利用者には不便を来している現状から、苦情なども寄せられております。

つきましては、白石蔵王駅利用者の利便性向上を図り、白石蔵王駅前広場の適正な利用を促進するため、白石蔵王駅東口駐車場の拡張工事を実施します。

白石蔵王駅駐車場の駐車台数 (単位：台)

	西口	東口	合計
現状	107	41	148
拡張後	107	56	163
増減	0	15	15

工事概要

白石蔵王駅東口駐車場整備工事

駐車場増設工 15台増設

[歳出] 8款 土木費 4項 都市計画費 4目 駐車場管理費
2 駐車場管理費
15節 工事請負費

白石蔵王駅東口駐車場整備工事

5,940千円

市道改良整備事業

担当：建設部建設課

道路利用者が安全・安心に通行できるように、幅員の狭い道路の拡幅や舗装修繕など実施します。中でも市道桜小路線は、白石中学校及び白石高等学校の通学路として歩行者の通行も多い重要な路線であります。136mの区間は歩道が設置されていないため、歩行者の安全確保に支障を来しています。

そのため、2.5mの歩道を設置し、併せて車道を拡幅することにより、道路利用者の安全を確保し社会基盤の向上を図ります。

事業概要

1 市道改良整備事業

(1) 改良工事

市道佐久来2号線側溝改修工事外8路線

(2) 舗装工事

市道平成5号線・8号線舗装新設工事外9路線

2 地方道路整備事業

(1) 市道桜小路線道路改良事業

施工延長136m、幅員9.5m(車道7.0m+歩道2.5m)

(2) 市道明兵田通り線道路改良事業

全体計画延長960m、幅員5.0m(うち車道5.0m)
平成26年度施工延長380m

(3) 市道鎌先1号線道路改良事業

全体計画延長960m、幅員5.0m(うち車道5.0m)
平成26年度施工延長320m

[歳入] 国庫支出金

社会資本整備総合交付金 44,000千円

防災・安全社会資本整備総合交付金 16,500千円

繰入金

地域の元気臨時交付金基金繰入金 20,000千円

地方債

地方道路整備事業債 45,600千円

[歳出] 8款 土木費 2項 道路橋梁費 3目 道路新設改良費

2事業 市道改良整備事業

15節 工事請負費 77,100千円

8款 土木費 2項 道路橋梁費 5目 地方道路整備事業費

2事業 交付金事業

15節 工事請負費 109,150千円

22節 補償、補填及び賠償金

物件移転補償金 1,000千円